

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋・日本美術史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

成績	續
----	---

2023年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選拔) 問題

專 門 科 目 I (東洋・日本美術史)

一、「東洋日本美術史における主題と場」という問題について、具体的な事例をあげながら論じなさい。

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

受 験 記 号 番 号	
-------------	--

二、各設問の指示にしたがって答えなさい。

問題 1

次の資料は、成尋『参天台五台山記』熙寧五年（一〇七二）十月二十三日条の一部である。これを読み、書き下し文を作成しなさい。

到感聖禪院大門。諸僧來向。從西脇門入。先於大門內点茶。引幕張帳立椅子。次礼大仏殿。丈六弥勒為中尊。左右弥陀。千百億釈迦。莊嚴甚妙。次礼盧舍那大殿。燒香。先祈誓聖主万歳万万歳。有維那打金高聲呼依。次礼東大殿。燒香釈迦像。次礼西大殿。金字一切經莊嚴不可思議。

問題 2

次の資料は、宮本君山著『漢画独権古』（一八〇七年刊）の一部である。全文（ふりがなを含む）を現代通用の表記に書き改めなさい。

○倭画漢画論

我邦の古人、大抵漢士の名画と習ひて、のく筆と
とせしむ。一家の風と云ふも、風韻なるもの
なく、周文、雪舟のより、起る。蘇、倭、實、鳥、羽、僧
正の二子、漢士宋元の名画と習ひ、一家の風を
なす。けは、世に流行するものなり。可、翁、眠、兆
及び如、拙、周文至て、方は精妙と得たり。其後又分
て二家となす。曰、土佐曰、雪舟。曰、将野なり。土佐
ハ倭画の巧門なり。雪舟ハ倭画の粗筆なり。将野ハ
是倭とて倭と乗るなり。各此支流、世に流行すること
入るものなり。故に名譽の人も又多し。然るも支流
世に降る。拙、周文、雪舟、倭、土佐、将野、の倭士の風ハ
なるべし。然るも、近來喜保、宝曆のより、ハ倭画と
學者に方ふ。起て名譽の人若干なり。安永、天明の頃ハ
至るものなり。今、中々文、倭画高き

受驗記号番号

受験記号番号	
--------	--

三、次の項目について略述しなさい。

A、釈迦信仰と美術

B、骨法用筆

C、沈南蘋と南蘋派

受験記号番号	
--------	--

D、新古典主義

E、具象と抽象